

第28回名晶会大阪支部交流会（講演会及び総会）開催報告

2023年10月28日(土) 15時から19時まで、中央電気倶楽部にて、16名の参加者（WEB参加5名を含む）で今年度の交流会（講演会及び名晶会大阪支部総会）を開催しました。以下に概要を報告します。

1. 講演会

K52 堀尾順一氏（株式会社トウワン代表取締役、元名晶会理事長）から、「古事記と私」と題して講演していただきました。同氏は会社経営の傍ら古事記を読んだことをきっかけとして、歴史を学び直されており、今回は、神話を中心とする古事記上巻について語っていただきました。図-1、2は講演に用いられた資料の一部で、我々も耳にしたことがある「伊邪那岐、伊邪那美の国生み」、「八俣遠呂智退治 須佐之男命」、「国譲り 大国主命」などの神話について、高天原が関東に存在したとする説をとる等の同氏の考え方も交えて、分かり易く解説いただきました。出雲大社で発見された太い心御柱から平安時代に現在の2倍の48mの高さに及ぶ神殿の存在が裏付けられたことから、古事記に記載され従来神話とされてきた、古代出雲大社の巨大神殿も現実味を帯びていることが示され、考古学の進展が神話の中にリアリティーをもたらしている事も示されました。また、今までの歴史に関する学びから、GHQが残した自虐史観の影響が強く残る現状の歴史教育の問題を強く認識するようになり、歴史教育の改善に取り組まれていることも述べられました。

2. 名晶会大阪支部総会

名晶会大阪支部幹事と支部長から、活動経過、会計報告、交流会参加者数の推移等が報告されました。特に、交流会参加者の推移からは、参加メンバーの固定化と若い年代の参加者減少が明確であり、このままでは近いうちに名晶会の活動が困難となる可能性大であることが示されました。このため、若い世代の取り込みをどうするか等について意見交換を行い、今後も継続的に検討することとなりました。

3. 懇親会

講演会・総会終了後、現地参加者全員で懇親会を行いました。古い神社や古墳の近隣に住む会員も居て、講演に関連した話題で盛り上がり、また、参加者の近況報告も行い和やかな雰囲気の中で今年度の交流会を終わりました。

（記：K52 高岸成典）

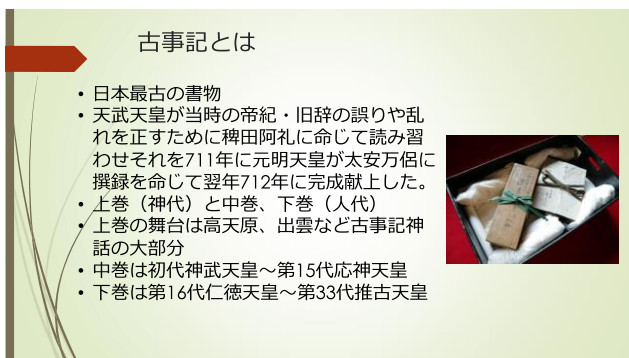


図-1 講演資料より抜粋①



図-2 講演資料より抜粋②



写真-1 現地参加者の集合写真



写真-2 WEB参加の皆様